

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	地区公民館運営事業(吉永)		コード	担当課	吉永地域公民館
			03-02-04-13	担当者	金藤康樹
事業実施期間			電話	84-3839	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	公民館			
	施策	指導者の育成・文化活動の推進			

事業について	
目的	地域住民の生涯学習活動の拠点として、地域の人材を生かした指導者や団体の育成を進め、文化・スポーツなどの各種事業の推進を支援し、地区の自発的な活動も支援する。
対象(誰のために)	神根・和意谷・三国地区3地区に在住する住民
内容	各地区での特色のある文化・体育・レクリエーション等の講座催し物の開催及び貸館業務

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
貸館利用者数	7,457人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,975	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	540	受益者負担	147	人件費		受益者負担	
	合計	6,515	一般財源等	6,368	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.55	人
結果指標名	貸館利用者数	
結果指標量	7,457	
単位	人	
対前年比	-	
事業費	6,515,000	円
単当たりコスト①	873	円

結果指標②	結果指標名	
	結果指標量	
	単位	
	対前年比	
	事業費	円
	単当たりコスト②	円

事業の成果	17年度		平成20年度	
成果指標名	貸館利用者数	式又は説明	地区公民館年間利用者数	
成果指標量	7,457			
対前年比	-	0.00%		
到達目標値	8,000	到達目標年度	平成20年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	本事業は法令に基づいて行われており、各地区での文化・体育の振興と住民の親睦融和を図る機会を提供している。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	今年度は三国公民館ホールのアスベスト除去工事を施しておりこれによる事業費が約75%を占めている。冷暖房料等については利用者負担としており、コストの効率化は適正と考える。
	手段の最適化	
有効性の評価	市民関与の妥当性	それぞれの地区において、振興会等を組織し運営には意見が良く反映されているが、今後は地区相互の連携を密にし範囲を広げた運営が必要である。
	目的達成度	
	成果向上の可能性	
市民参画度		

総合評価	コメント	評価区分
	講座などの内容によっては、地区相互が連携し更なる交流、活性化を図りたい。	<A~E>
		C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	7,800人	結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	有効性	地区館相互の連携	H19年度	地区活動の活性化

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。